

＜行事等について＞

- ・10月1日と2日にひまわり福祉会の系列園の保育士2名(8時30分～17時15分)が本園保育士と保育をします。
- ・10月24日(土)にひよこぐみ・ちゅうりっぷぐみ・たんぽぽぐみの保育参観を予定しています。詳細については後日手紙を配信いたしますのでご確認ください。
- ・11月7日(土)にすみれぐみ・ひまわりぐみ・ゆりぐみの運動会を予定しています。詳細が決まりましたら手紙を配信いたします。

買いもの体験

マックスバリュ石内店へ敬老の日の葉書製作に使う葉書をゆりぐみは買いにいきますが、今年はひまわりぐみも「行ってみたい」ということで買いに行くことにしました。一人ずつお店の人に「ハガキをください」「〇枚ください」と伝え、お金を支払いました。



お店の人に「ありがとうございます」と言われレシートをもらうと「買えたよ」の笑顔でいっぱいでしたよ。園外の人と接することや公共の場で過ごすことは社会性にもつながり、良い経験となりました。

『10月10日は目の愛護デー ～目を大切に～』

目の愛護デー



2つの10を横に倒すと、眉と目の形に見えることから10月10日は目の愛護デーとされています。

近年、子どもの視力低下が多くなっています。子どもたちの視力は乳児期にとっても伸びます。「目で見ると言いますが目はカメラでいえばレンズになり、目から入った映像を脳で判断して「見ている」のです。

子どもたちの目は、目の機能としては完成していますが、脳はまだ発達途中です。目から入った映像を脳がいろいろ判断をするようになってだんだん「見える」ようになっていきます。脳が育つためには両目でしっかり映像を捉えていくことが大切です。

＜見る力を育てるポイント＞

- 明るさ、暗さのメリハリのある生活をする…日中は光を浴び、夜は暗くして眠る。
- 広い空間で体と目を動かす機会を作る…全身運動は眼球、視神経、脳の発達を促します。
- いろいろなものを見る体験をする…止まっているもの-動いているもの、小さなもの-大きなもの、近くにあるもの-遠くにあるものなどいろいろなものを見る体験が目の良い刺激となります。
- テレビやゲームは時間を決めてする…狭い範囲の平面な映像を見続けることは目の負担になります。

朝晩の冷え込みについで厚着をしてしまいがちですが、子どもの体温は大人よりも高く、日中は活動していると暑くなってしまうことも多いです。登降園時に肌寒い場合は厚い衣服を着るのではなく、羽織る上着を着用し、園内では薄着で過ごしていけるよう衣服の調節をお願いします。

☆薄着の良いところ



- ①体温調節機能が育ちます…厚着をしていると気温の変化を直接、肌で気づきにくなります。暑さや寒さを感じることで気温への防御反応が高まります。
 - ②風邪をひきにくなります…薄着だと外気温の変化をとらえる皮膚感覚や自律神経が鍛えられ免疫力が強くなります。
 - ③体の動きを活発にする…薄着なことで体を動かしやすく、遊びや活動に活発に参加できます。厚着だと動きにくくなってしまうこともあります。また、肌着を着る、子どもが自分で着脱しやすい素材や形の衣服がいいですね。
- ◆個人差や健康状態もありますので子どもの様子に合わせることも大切です。